

# 令和2年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110	伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					77.0%					80.0%
実績	71.6%									
指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					39.0%					50.0%
実績	24.1%									

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
墨田区の歴史や伝統文化を将来にわたり継承、発展させるため、今後も資料の収集・保存、展示、調査研究等の活動を積極的に展開していく必要があるが、区民、観光客を含む多くの人にそれらの魅力をいかに発信していくかが課題といえる。	H29	76,801
	H30	87,906
	R1	83,093

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	所有する文化財等を活用し、墨田の歴史・文化を区民に発信していくという点で一定の成果は得られている。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
文化財の保護や保存、普及、活用に区が取り組むべき必要性は高く、これまでも様々な取り組みを行い一定の成果を上げることができた。	
【今後の具体的な方針】	
区民が、すみだの歴史や文化にふれることで郷土に対する理解や愛着が深まり、将来にわたり伝統文化を継承、発展させる。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	文化財保護事業	20,740	13,981	34,721	151	現状維持
					149	令和元年度
2	埋蔵文化財発掘調査と保管場所	11,398	3,495	14,893	30	現状維持
					36	令和元年度
3	すみだ郷土文化資料館管理運営	19,182	9,612	28,794	16000	現状維持
					11966	令和元年度
4	すみだ郷土文化資料館事業	26,232	13,981	40,213	16000	現状維持
					11966	令和元年度
5	立花大正民家園維持管理	5,541	2,621	8,162	2000	現状維持
					1429	令和元年度



事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	史跡説明板設置数				単 位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		135	6	目 標	114	116	118	120
				実 績	114	115	115	117
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	123	126	129	132	135	135	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	史跡説明板は、区の歴史や文化財を区民に知っていただくために非常に有用な施設である。経年劣化による取替えや、外国人観光客の増加に伴う英文の追加等、新規の設置以外にも取り組んでいることを踏まえ、目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	区登録文化財数				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
			目 標	142	145	148	151	
			実 績	142	144	147	149	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	154	158	158	158	158	158		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
文化財を登録・指定するために、積極的に調査を行い貴重な文化財を保護している。調査は1件ごとに非常に時間を要することを踏まえた目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財登録のための文化財調査及び文化財保護審議会の実施が適切に行われており、文化財の普及のための史跡説明板の設置や、文化財に関する刊行物の発行、史跡めぐり等も行っている。文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
文化財の保護のためには、それを調査し、その価値を認め、文化財登録して保護していく必要があり、効率性を求めることが難しい。また、その価値を区民に知っていただくことが保護につながるため、史跡説明板や刊行物等で文化財の周知を行っているが、今後も様々な機会を捉え、文化財の普及・啓発を図っていく必要がある。

施 策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位			
事 業 名	埋蔵文化財発掘調査と保管場所				2	
目 的	昭和25年に施行された文化財保護法及び平成11年制定の墨田区埋蔵文化財取扱要綱に基づき、墨田区内における埋蔵文化財の保存・活用に努める。				主管課・係(担当)	
					地域教育支援課・文化財担当	
					03-5608-6310	
対 象 者	埋蔵文化財に関心のある方、埋蔵文化財への普及・啓発を図りたい区民、区内に建設予定がある事業者及び関係機関					
根 拠 法 令	・文化財保護法					
関 連 計 画	・墨田区文化財保護条例及び施行規則					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	2人	
事 業 内 容	土地に埋蔵されている文化財である埋蔵文化財の保護を図るため、墨田区埋蔵文化財取扱要綱を定め、同要綱に基づき開発予定地において試掘調査を行うことにより、工事前の遺跡(文化財包蔵地)の発見に努めている。試掘によって発見された遺跡については、文化財保護法の趣旨が適切に守られるよう開発事業者に対して協力を求めることにより、遺跡の調査及び保護を行っている。また、遺跡から出土した遺物について、一般公開ができるようにするため、整理・保存を進めている。					
経 過	開始年度		終了予定			
	昭和25年 文化財保護法施行 平成11年 墨田区埋蔵文化財取扱要綱施行					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		2,567	693	2,794	10,282	13,903	13,720
決算額(2年度は見込み)		1,983	179	1,432	9,461	11,398	13,720
財 源	国				3,750	6,750	5,681
	都				1,312	2,750	2,215
	その他						
一般財源		1,983	179	1,432	4,399	1,898	5,824
執行率(%)		77.2%	25.8%	51.3%	92.0%	82.0%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	学識経験者謝礼	104	報償費	学識経験者謝礼	78	報償費	学識経験者謝礼	671
需用費	発掘調査消耗品	110	需用費	発掘調査消耗品	237	需用費	発掘調査消耗品	220
委託料	発掘調査委託	9,205	委託料	試掘等調査委託	10,804	委託料	試掘等調査委託	12,687
使用料及び賃借料	携帯電話借上	43	使用料及び賃借料	携帯電話借上	220	使用料及び賃借料	携帯電話借上	142
			備品購入費	カメラ	59			

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	埋蔵文化財包蔵地照会件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績	3,460	3,418	3,905	3,780
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区の働きかけによって増減する値でないため、目標値は定めない。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	埋蔵文化財調査件数（試掘・本発掘）				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
36		4	目標	24	26	28	30	
			実績	12	24	30	36	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	32	34	36	36	36	36	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
埋蔵文化財行政の実施状況は、調査実施件数で把握することが最も適切である。目標値については、埋蔵文化財の発掘調査は開発事業者の協力のもと実施しており、実施件数を大きく増やしていくことは難しい。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
埋蔵文化財の照会が増加しているが、調査・試掘等は事業者の負担が大きいため、事業者の理解と協力が不可欠である。今後も、事業者に十分な説明を行い理解を求めて円滑に実施していく必要がある。

施 策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事 業 名	すみだ郷土文化資料館管理運営				3
目 的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。				主管課・係（担当）
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対 象 者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則				
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1.1・会計年度任用1、委託先：明治企業(株)・受付業務、(株)ユアン(清掃業務)
事 業 内 容	すみだ郷土文化資料館の維持管理及び施設運営				
経 過	開始年度	平成10年度	終了予定		
	平成10年4月12日 開館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)～5月31日(日)臨時休館				
議 会 質 問 の 状 況	令和元年度予算特別委員会 施設の老朽化に対する対応について				
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額（事業費）		18,701	17,991	18,513	18,287	20,349	21,677
決算額（2年度は見込み）		17,424	16,959	17,782	17,926	19,182	21,677
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	746	722	735	874	705	706
一般財源		16,678	16,237	17,047	17,052	18,477	21,677
執行率（％）		93.2%	94.3%	96.1%	98.0%	94.3%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	受付業務等	9,285	委託料	受付業務等	8,715	委託料	受付業務等	9,789
需用費	光熱水費等	4,454	需用費	光熱水費等	3,998	需用費	光熱水費等	4,440
役務費	清掃業務等	2,501	役務費	清掃業務等	2,286	役務費	清掃業務等	2,372
工事請負費	館内設備修繕	1,132	工事請負費	館内設備修繕	3,122	工事請負費	館内設備修繕	1,904
使用料及び賃借料	事務機器等借上	555	使用料及び賃借料	事務機器等借上	557	使用料及び賃借料	事務機器等借上	1,573

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	講座・講演会等参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2600	令和7年度	目標	2300	2300	2300	2300
				実績	3652	3603	3674	1776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	2600	2600	2600	2600	2600	2600	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	講座・講演会等参加者の数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。目標値については開催回数、定数等に基づき算出した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	入館者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
17000		令和7年度	目標	16000	16000	16000	16000	
			実績	13671	14155	14270	11966	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	17000	17000	17000	17000	17000	17000		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
資料館の入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を区内外に広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小学生児童への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。 受付業務・清掃及び施設設備保守等の施設維持にかかる業務の委託化により、経費削減に努めているところである。更なる民間活力の活用を検討し、効率的な運営に取り組む。

課題・問題点
開館から20年以上が経過し、空調や電気設備、展示機器等の老朽化が進み、来館者及び収蔵資料の安全確保に支障が生じかねない状況になっている。関係部門と調整の上、必要な改修を行うなど、適切な施設管理を行う必要がある。令和2年度に実施設計、令和3年度に大規模修繕工事を予定している。



施 策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる				部内優先順位
事 業 名	すみだ郷土文化資料館事業				4	
目 的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。				主管課・係（担当）	
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034	
対 象 者						
根 拠 法 令 関 連 計 画	博物館法、すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1.6・会計年度任用4.5	
事 業 内 容	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育・学術及び文化の発展に資するため、資料の収集・保存及び展示に関する事業などを行う。					
経 過	開始年度	平成10年度		終了予定		
	平成10年4月12日 開館 20年度：開館10周年記念特別展を実施 24年度：東京スカイツリー開業記念年間特別展示を実施 26年度：シリーズ探訪向島をテーマに企画展を実施 27年度：終戦70年平和祈念展示を実施 29年度：区制70年記念展示を実施 30年度：開館20周年記念特別展を実施					
議 会 質 問 の 状 況	令和元年度定例会2月議会本会議質問 オリパラ開催記念展の児童生徒の見学について					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額（事業費）		30,494	29,665	33,059	35,727	28,073	31,969
決算額（2年度は見込み）		29,242	28,512	30,722	34,147	26,232	31,969
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	414	350	232	489	307	311
一般財源		28,828	28,162	30,490	33,658	25,925	31,658
執行率（％）		95.9%	96.1%	92.9%	95.6%	93.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	学芸員等報酬	18,222	報酬	学芸員等報酬	18,290	報酬	学芸員等報酬	17,598
備品購入費	資料購入等	3,499	備品購入費	資料購入等	2,183	備品購入費	資料購入等	2,200
需用費	ポスター等印刷	6,562	需用費	ポスター等印刷	1,844	需用費	ポスター等印刷	3,688
委託料	展示キットの作成等	3,139	委託料	展示設備の改修	1,079	委託料	展示資料撮影	1,800
使用料及び賃借料	展示ケースの借上等	1,196	役務費	美術品の運搬等	805	役務費	美術品の運搬等	1,655

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	講座・講演会等参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2600	令和7年度	目標	2300	2300	2300	2300
				実績	3652	3603	3674	1776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2600	2600	2600	2600	2600	2600
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	講座・講演会等参加者の数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。目標値については開催回数、定数等に基づき算出した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	入館者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
17000		令和7年度	目標	16000	16000	16000	16000	
			実績	13671	14155	14270	11966	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	17000	17000	17000	17000	17000	17000	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
資料館の入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>区の郷土文化を区内外に広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。</p> <p>区の郷土文化にゆかりの深い資料の収集・保存を的確に行い、その資料をもとに魅力ある展示・講演を企画し、PRを行い、より多くの人々にすみだの歴史や文化に対する理解を深めていただく。</p>

課題・問題点
<p>コロナ禍における安全・安心な観覧を確保しながら、展示、講座・講演会等の内容を工夫するとともに、発信力を強化し、多くの人々にすみだの歴史や文化に親しみ、理解してもらうことが課題である。</p> <p>学校教育との関わりについても、その方法を工夫しながら関係部署と連携して来訪者のニーズに合わせて充実を図る必要がある。</p>

施 策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事 業 名	立花大正民家園維持管理				5
目 的	墨田区立公園(立花大正民家園)内にある旧小山家住宅を、区の指定文化財として保存するとともに、建物内居室の有料貸出を行う。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対 象 者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区文化財保護条例、都市公園法、墨田区公園条例				
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤0.3・会計年度任用0.5、委託先:シルバー人材センター
事 業 内 容	墨田区立立花大正民家園の運営及び維持管理 立花大正民家園旧小山家住宅に係る使用の承認、取消し及び変更の承認並びに使用料の減額免除及び返還の承認並びに維持管理 立花大正民家園旧小山家住宅での展示事業の実施				
経 過	開始年度	平成11年度	終了予定		
	平成10年度 建物の寄贈を受ける 平成11年度 開園(平成11年7月1日) 平成16年度 生涯学習課文化財担当より移管 平成22~23年度 東日本大震災の発生に伴い平成23年3月12日から12月31日まで休園 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)~5月31日(日)臨時休園				
議 会 質 問 の 状 況	令和元年度決算特別委員会、令和元年度予算特別委員会「民家園」の利用促進について				
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		4,887	5,534	5,931	5,912	6,445	5,867
決算額(2年度は見込み)		4,767	5,066	4,950	4,879	5,541	5,867
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	32	33	32	29	33	33
一般財源		4,735	5,033	4,918	4,850	5,508	5,834
執行率(%)		97.5%	91.5%	83.5%	82.5%	86.0%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	管理業務	2711	委託料	管理業務	2896	委託料	管理業務	3,368
役務費	樹木剪定	1909	役務費	樹木剪定	1628	役務費	樹木剪定	1,762
工事請負費	建物修繕	74	工事請負費	建物修繕	350	工事請負費	建物修繕	400
需用費	光熱水費	176	需用費	光熱水費	112	需用費	光熱水費	154
使用料及び賃借料	消火器借上	10	使用料及び賃借料	消火器借上	9	使用料及び賃借料	消火器借上	10

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	住宅内の特別展示回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	2	2	2	2	2	2	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設への関心を高め、入園者数を増加させるために有効な特別展示(雛人形展と五月人形展)回数を指標とした。施設に負担をかけず文化財として保護していくために、実施回数は現状維持が適切である。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	入園者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
2000		令和7年度	目標	2000	2000	2000	2000	
			実績	2088	1911	1822	1429	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	2000	2000	2000	2000	2000	2000		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
立花大正民家園の入館者数に応じ、区の指定文化財である旧小山家住宅に対する関心度を確認することができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	旧小山家住宅は、区の指定文化財であり、貸施設として用途が限定されていることから、利用件数においても年間十件程度で推移している。これを踏まえ、建物の安全性を確保した上での活用方法を検討していく。

課題・問題点
旧小山家住宅内を無料で一般公開する一方、公開による見学者が支障をきたさない条件下で住宅内を有料貸出している。住宅見学者、住宅有料使用者とが共存した利用のあり方に加え、貴重な文化財であるため、文化財保護審議会委員の助言を受け、老朽化した箇所を修繕していきながら運営する必要がある、保存と活用の両立が大きな課題である。